



議事堂の食堂にて



LG5LG.SJ9WLのシャックの入口のサイン



消防車



LAから運用中のJR3MVF

オスロ&モロクリアン

JR3MVF 三好京子

アイスランドからの帰途、友人の Unni(LA6RHA) 宅でオスロの初夏を楽しみました。彼女がぜひノルウェーとスエーデンの国境にあるモロクリアンに行こうと薦めてくれました。オスロから車で2時間余りのドライブ後、モロクリアンに到着しました。国境にはピースモニュメントが建っており、その真ん中が両国の境界線です。大勢の観光客がバスで訪れ、観光名所としても有名な所でした。境界線のすぐ傍、ノルウェー寄りの建物には、立派なアンテナが建っていました。なんとそこにはノルウェーとスエーデンが共同で管理する特別のアマチュア局が設けられていました。その特別のコールサイン LG5LG/SJ9WL での運用ができ、多くの日本の局とも交信できました。

オスロでは、Unniの友人が国会の警備担当のボスをしている関係で、国会議事堂を案内してもらいました。日本の天皇陛下も訪れたというお部屋など国会の中をゆっくり見ることができ、議事堂内の食堂で議事堂のマークが入った器でコーヒーやフルーツをいただき、とても良い思い出になりました。素敵なボスに見送られちょっと国会議員になったような気持ちでした。

オスロ市内は夏を待ちわびた人々で賑わっていました。多くのレストランではビールや飲み物を片手にあちこちでおしゃべりの輪ができ、いかにも夏を待っていたのだなあと感じました。オスロ湾を3時間程ボートで楽しみいろいろなヨットやモーターボート、点在するサマーハウスなどを見ることができ、北欧の人々の夏のバカンスはとてものんびりと優雅だなと思いました。

オスロでの経験で忘れられないのは、ある消防署を訪ねて大きな消防車に乗せてもらったことです。勿論初めての経験だったのでとても印象に残りました。消防関係も世界的なネットワークがしっかりできていることを、今回初めて知りました。保育所の2階にあるクラブ局を訪問しました。場所は少し町中から離れていて8エルのアンテナがそびえていました。ここから LA/JR3MVF でオン・エアしました。

オスロでの最後の思い出は、友人達と山の上にある有名なジャンプ台の近くのホテルで眼下にオスロ市内を眺めながらワインを片手にいつまでも明るい北欧の夜を楽しみました。



オスロのホテル



マーク入りの器



国境をまたいでいます



LG5LG/SJ9WLのシャックとアンテナ

